

患者さん・ご家族の皆様へ

2019年8月13日

四種混合ワクチン「テトラビック皮下注シリンジ」の一部製品回収について

当院で使用している四種混合ワクチン「テトラビック皮下注シリンジ」(製造会社:阪大微生物研究会)の一部の製品(以下、該当ロット)において、対象ウイルスの1つであるポリオウイルスの抗原量が僅かながら定められた数値以下になってしまうことが判明し、現在該当ロット製品の回収が行われています。

回収前に該当ロットを使用された患者さんがおりますが、これまでの本製剤の臨床試験の結果より、該当ロットのような抗原量であってもワクチンとしての有効性は保たれ安全性への懸念も無いものと考えられます。

しかしながら、このたび製造会社より、有効性に不安を感じワクチン効果確認のための抗体検査をご希望される方に対して、血液検査費用を製造会社の負担にて行う旨の連絡がありました。

当院では、四種混合ワクチンの接種を受けた患者さんと使用されたワクチンのロット番号全てを把握しており、該当ロットを当院で接種された患者さんに対して個別に詳細なご説明をいたします。

<該当製剤>

四種混合ワクチン「テトラビック皮下注シリンジ」

<該当ロット番号>

4K23A, 4K23B, 4K23C, 4K24A, 4K24B, 4K24C

母子手帳などに、「DPT-IPV ビケン」との表記とロット番号が記載されたシールを貼付しておりますので、確認が可能です。

ご心配やご不明な点などがございましたら、当院まで遠慮なくご相談ください。

済生会横浜市東部病院
院長 三角 隆彦

(2019/08/13 薬剤部作成)